

**第3回 久留米市営駐車場（広又、小頭町公園及び東町公園）
指定管理者候補者選定委員会 議事録**

日 時：令和4年10月13日（木）16時30分～18時20分
場 所：久留米大学 御井本館3階 第3会議室
出 席：石井委員、伊佐委員、安永委員、境委員、中山委員
欠 席：なし
開催形態：非公開

1. 開会

2. 議題

（1）二次審査の審査方法等の説明

【事務局】二次審査（プレゼンテーション審査）の審査方法等について説明。

（2）二次審査（プレゼンテーション審査）

＜久留米駐車協同組合＞

【委員】どのように、近隣の商店だけでなく地域の企業や金融機関、医院などの利用を積極的に推し進めるのか。

また、どのように、様々な地域のイベントへ協力するのか。

【団体】中心市街地には、金融機関が集中しており、特定日には、金融機関の駐車場だけでは対応できない状況が生じている。銀行協会を通じ、共通駐車券を使ってもらえないか働きかけを行ったが、金融機関毎の事情があり、うまくいかなかった。

医院、特に歯科が多いが、共通駐車券を利用してもらっている。

イベントへの協力は、シティプラザで行われるイベントや献血の際に、共通駐車券を寄附している。また、商店街が発行するマップに、共通駐車券が使える駐車場を掲載してもらい、協賛している。

何か見つけたら協力したいと思っているし、商店街から要望があれば、応じたいと思っている。

【委員】障害者の安心・安全には、どのような点に注意を払うのか。

【団体】月極駐車は個人情報を含むので、しっかり管理している。

東町公園駐車場は地下にある。利用者アンケートでは、「エレベーターが欲しい」という意見があり、検討したが、施設の老朽化等もあり、ストップしている。

車いすで移動が困難、発券機に届かない等の場合は、係員が手伝っている。障害者の方が利用しやすい人的体制をとっている。

【委員】利用者アンケートは統計をとっているのか。

【団体】統計をとって、市に提出している。

【委員】管理運営業務計画書に記載されている施設の管理・運営費用の縮減

策は、管理に係る収支計画書に反映されているか。

- 【団体】 現在、月極駐車は人的対応をしている。一方、時間貸しは機械化している。問題は、現金を扱うことによる係員の負担。それを軽減するために、月極の自動契約機を導入したいが、高額である。電子マネーや交通系ＩＣカード、クレジットカードに対応した機器を導入し、係員の労働環境を改善したい。係員の人件費もかかっている。機器の導入とあわせて、無人化、経費の削減を図りたい。係員の高齢化もあり、評判が落ちている。早朝・深夜の勤務や暑い中・寒い中の勤務もあるので、負担を軽減したい。安心・安全を確保するためには、警備会社との契約、監視カメラの充実が必要だと考えている。

- 【委員】 共通駐車券の寄附とは、イベント主催者への共通駐車券の配布ということか。

- 【団体】 その通り。

<株式会社くるめ都市交通マネジメント>

- 【委員】 料金改定案は周辺駐車場の料金を参考にしているのか。

- 【団体】 その通り。料金改定は、市の条例改正が必要であるため、提案。

- 【委員】 料金改定により、どの程度の収入増を見込んでいるのか。

- 【団体】 金額ベースではないが、月極駐車料金の値上げで、契約を辞める人も出てくる。月極駐車の数人が多少減っても、値上げで今より収入が減ることはないと思込んでいる。月極駐車の数人が減ることで、一般駐車を入れることができる。一般駐車の方が、回転率が良く、一台あたりの収益があがる。全体として収益があがる。料金を上げると、市民の負担になるという考えもあるが、安いままだと、周辺の駐車場が値上げできない。ある意味、民業圧迫にもつながっている。１０年以上据え置きなので、見直した方がよい。

- 【委員】 ユニバーサルデザインの採用と高機能自動販売機の設置について、具体的に教えて欲しい。

- 【団体】 新しく作る駐車場はユニバーサルデザインを採用するように推奨されている。当然、採用していかなければならない。高機能自動販売機は、災害時、無料で飲料が提供されるもの。メーカーが社会的責任の一環で実施している。

- 【委員】 ユニバーサルデザインは、どこをどのように変える予定か。

- 【団体】 これまで、出口の段差の解消や持ちやすい手摺への変更等を行ってきた。

- 【委員】 地元団体や地域社会と協力して夜間パトロールを実施とあるが、どのように行うのか。

- 【団体】 商店街と協議し、年末やイベント時に、騒ぐ人がいると近隣の迷惑や治安の悪化につながるのを、巡回して防ぎたい。

- 【委員】 決算報告書を見ると、令和２年度は赤字になっている。何か特別な

理由があるのか。

【団体】会社の立ち上げで費用がかかるし、やっと仕事が取れ始めて令和3年度、黒字に転換した。特別な損失があって赤字だったわけではない。

【委員】現在は、JR久留米駅西口駐車場と荒木駅東駐車場の2か所のみの運営か。

【団体】その通り。

【委員】中心市街地活性化支援の想定は。

【団体】これまで、健康ベンチの寄附やイベント時の共通駐車券の寄附等を行ってきた。コロナの影響もあるので、今後、どのような策が有効か、検討する必要がある。額は、現在行われている支援の額を計上しているが、収益が上がれば、額を上げることもあり得る。

【委員】管理業務の再委託先は、どのようなところを考えているのか。

【団体】駐車場の管理会社を想定している。会社の経営状況と節税効果から、新たに雇用するのではなく、経験豊かな人がいる会社に再委託したい。各駐車場の管理は、シルバー人材センターに再委託したい。

【委員】施設カルテの作成、メンテナンス計画の作成・実施は、どのように情報収集を行い、どのように作成するのか、具体的なイメージを教えてください。

【団体】市が保有するデータを提供してもらい、専門家の意見を聞く。躯体の維持管理は、市になるが、躯体も含めて把握したい。危険な箇所を把握したら、ランク付けし、喫緊に必要な補修、修繕や改修のタイミングを念頭に運営する。

改修の場合、駐車場を閉鎖しなければならないこともある。

(3) 採点

評点表に各委員記入

(4) 指定管理者候補者の決定

【事務局】集計の結果、1位評価が株式会社くるめ都市交通マネジメントで356点、2位評価が久留米駐車協同組合で337点。

なお、2団体とも、最低基準はクリアしている。

【委員】審査項目毎の最低基準もクリアしているのか。

【事務局】2団体とも、全ての審査項目で最低基準をクリアしている。

【委員】どの審査項目で差がついたのか。

【事務局】主に効用の最大化と経費の縮減の部分で差がついている。

【委員長】指定管理者候補者に株式会社くるめ都市交通マネジメントを、第2順位の交渉権者に久留米駐車協同組合を選定する。

3. その他

4. 閉会